|  |
| --- |
| ４０５７．ハウスＢ／Ｌ貨物情報登録呼出し |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＮＶＣ１１ | ハウスＢ／Ｌ貨物情報呼出し |

１．業務概要

（１）混載子Ｂ／Ｌ情報呼出し

「ハウスＢ／Ｌ貨物情報登録（ＮＶＣ０１）」業務によりシステムに登録した混載子Ｂ／Ｌ情報を呼び出す。

呼び出された情報は、ＮＶＣ０１業務において訂正を行うことが可能である。

（２）出港前報告情報呼出し

ＮＶＣ０１業務に先立ち、システムに登録されている出港前報告情報のうち、ハウスＢ／Ｌ情報よりＮＶＣ０１業務に利用しうる情報を呼び出す。

２．入力者

通関業、保税蔵置場、ＮＶＯＣＣ、海貨業

３．制限事項

１業務で入力可能な混載子Ｂ／Ｌ番号は最大２０件とする。

４．入力条件

（１）入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②混載子Ｂ／Ｌ番号に対する貨物情報ＤＢが存在する場合は、当該混載子Ｂ／Ｌ情報を登録した利用者であること。

③混載親Ｂ／Ｌ番号に対して既に混載子Ｂ／Ｌ情報が登録されている場合は、混載子Ｂ／Ｌ情報の登録を行った利用者であること。

④②③以外の場合で、出港前報告情報ＤＢから呼び出す場合は、ＡＨＲ業務等の実施利用者であるか、ＡＨＲ業務等で登録された通知先の利用者であること。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（３）貨物情報ＤＢチェック

（ａ）混載親Ｂ／Ｌのチェック

混載親Ｂ／Ｌ番号に入力があった場合で、混載子Ｂ／Ｌ番号に対する貨物情報ＤＢが存在する場合は、以下のチェックを行う。

①貨物情報ＤＢが存在すること。

②混載親Ｂ／Ｌであること。

（ｂ）混載子Ｂ／Ｌのチェック

混載子Ｂ／Ｌ番号に対する貨物情報ＤＢが存在する場合は、以下のチェックを行う。

①混載子Ｂ／Ｌであること。

②関連付けがされている混載親Ｂ／Ｌ番号と、入力された混載親Ｂ／Ｌ番号が同一であること。

③混載子Ｂ／Ｌ番号のみ入力された場合は、混載親Ｂ／Ｌ番号との関連付けがされていないこと。

④混載仕分けを行う保税地域等で搬入確認済（保税地域等に蔵置中に混載仕分けを行う場合は、混載仕分確認済）でないこと。なお、混載仕分け場所がシステム参加保税地域等＊１以外の場合は、「システム外保税運送到着確認（ＳＡＴ）」業務または輸入申告等の税関手続がされていないこと。

⑤入力されたすべての混載子Ｂ／Ｌ番号に対する貨物情報ＤＢが存在すること。

（４）出港前報告情報ＤＢチェック

混載子Ｂ／Ｌ番号に対する貨物情報ＤＢが存在しない場合は、出港前報告情報ＤＢに対して以下のチェックを行う。

①出港前報告情報ＤＢが存在すること。

②ハウスＢ／Ｌ情報であること。

（＊１）システム参加保税地域等とは、システム参加保税地域と「他所蔵置許可申請（ＴＹＣ）」業務または「許可・承認等情報登録（保税）（ＰＳＨ）」業務で登録された他所蔵置場所をいう。なお、システム参加保税地域とは、システムに参加している保税地域をいう。

５．処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）ハウスＢ／Ｌ貨物情報登録呼出情報編集出力処理

貨物情報ＤＢまたは出港前報告情報ＤＢよりハウスＢ／Ｌ貨物情報登録呼出情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

（３）注意喚起メッセージ出力処理

①呼出情報を元に変更内容をシステムに反映する場合は、再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

②出港前報告情報ＤＢよりハウスＢ／Ｌ貨物情報登録呼出情報の編集及び出力を行った場合は、注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

③②の場合かつ、ハウスＢ／Ｌに関連付けられたマスターＢ／Ｌ番号が複数混在した場合は、混載親Ｂ／Ｌ番号欄を出力しないため、手入力する必要がある旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

６．出力情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| ハウスＢ／Ｌ貨物情報登録呼出情報 | なし | 入力者 |